

辻先生へ

支援期間中は大変お世話になりました。本当に
ありがとうございました。お礼の手紙が遅くなってしまい
申し訳ありません。ペアレントを卒業して、毎日忙しい
生活、あつという間に1年が過ぎていきます。この当たり前の
生活が送れている事が本当に嬉しく、幸せだと感じています。

思い返せば小学校3年生から行き渋りが始まり、
4年生から不登校になりました。元々保育園の頃から
行き渋り、母子依存、色々悩んでいました。頭痛持ち
だったこともあり、色々な病院へ行き、スクールカウンセラー
■■■■ (支援学校) など色々な所へ相談をしましたが、
「様子を見ましょう...」「待たしましょう...」本当にこのままでいいのかと
不安がうのるばかり。そんな時出会ったのが木野先生の本
「無理に学校へ行かなくていいは本当か」でした。あべさんが
自分の事にあてはまりました。完璧主義な性格な私は、
自分の考えを押し付け、失敗 けいよう 失回りを繰り返していました。
息子はそんな私においつぶされてしまったのだとわかった時は
本当に驚き、小言もなく、反省しました。
もうペアレントキャンプへあり願うしかない、主人との考えは一致
しました。

支援を決めたら辻先生との電話相談がサ台まりました。

まず、■■■■■を辞めさせる事、これが一番辛かったです。辻先生を信じ、話し方、話す言葉、二枚で教えの頂き、主人から話をしてもらい、■■■■■も泣きながらも納得している様子がみえました。自分自身もこのままではいけないと、どこかではわかってはいるのだらうと思いましたが、この日を境に、■■■■■は変わり、目標を学校へと変える事ができました。朝、車が送る日もありますが、歩いて登校ある事ができた日の事を忘れることはありません。

登校できるよになっから、■■■■■はグチャ色な反発はありますが、おぐに辻先生に相談できる、という私の安心感があり、私も変わっていったと思えます。■■■■■が変わっていくのわかりました。どんな話を聞いてくださる辻先生には感謝しありがとうございます。

■■■■■は、5年生、6年生と1日も休まず登校しました。その環境の変化があれだけ苦手だった■■■■■が、今年の4月から中学荘になりました。自分で決めてバレーボール部に入部しました。自転車車で登校し、「たたいまー」と帰ってきます。それだけで本当に嬉しい気持ちがいっぱいになります。相変わらず、グチャを言う事多いですが、寝る時間を遅く、心配はありますが。

辻先生の教えも忘れず、「言おう言おう...」ではなく、「聞かぬ」と
常に意識して生活しています。

家庭教育を学ばないならば、私はずっと間違っていたまま、
子育ては大変だと感じながら、子育てを辛抱していたと思えます。
10アレンツに出会えた事、そしてこんな話もあたたかく聞いて
下さった辻先生に心から感謝しています。

「親が変われば子が変わる」

これからも子育てを楽しんでいきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

